

あなたはどこで最期を迎えたいですか

「最期は家で」を叶えるためにはどうすればいいのか

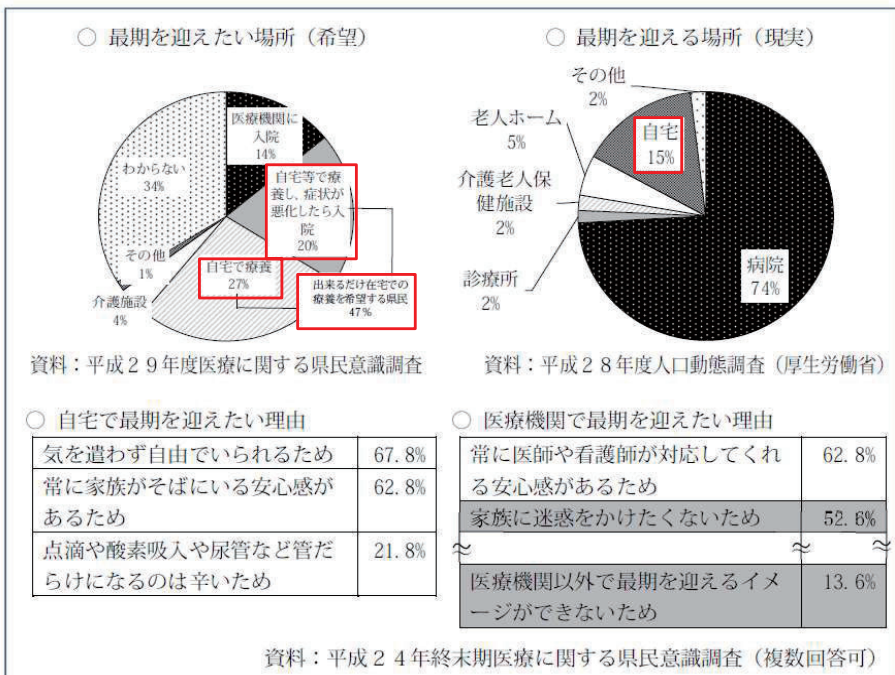


うらやす市民大学
令和2年2月3日(月)
浦安市福祉部高齢者包括支援課
鈴木 比紗子

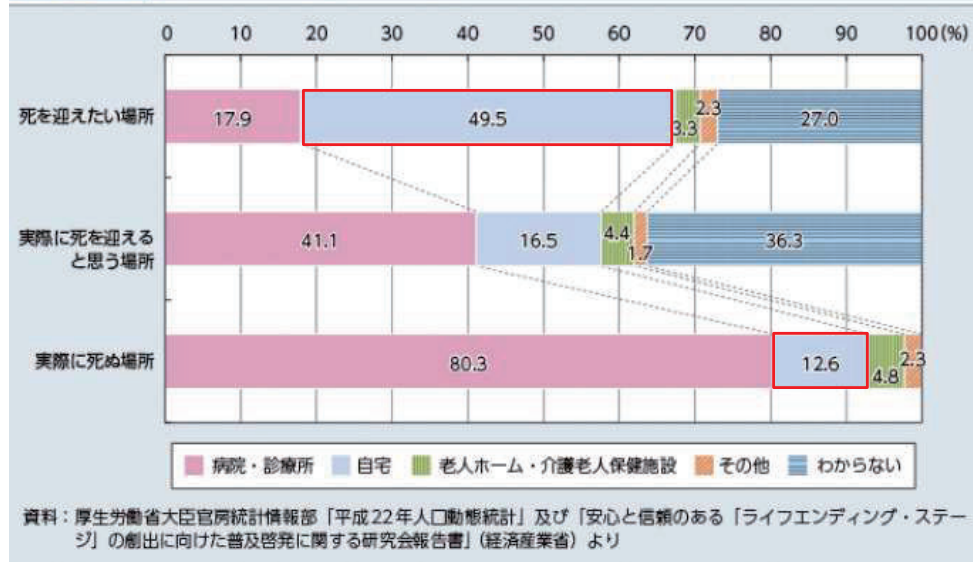
あなたは人生の終わりの時期をどこで迎えたいですか？

1. 自宅
2. 病院・診療所
3. 施設
4. その他

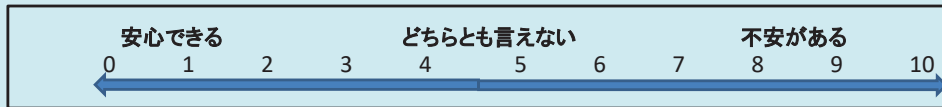
図表 2-1-3-4 最期を迎える場所に関する県民の意識と実態



図表 2-4-3 最期を迎える場所～希望と現実



浦安市で最期まで暮らすことに関して、どのくらい安心できますか？



本日の内容

1. 浦安市の在宅医療・介護の取り組み(在宅医療・介護連携推進事業)

1) 浦安市の医療介護資源

2) 今年度の主な取り組み

(1) 多職種連携会議

(2) 市民語りの会

(3) パンフレット作成

(4) 市民講座

2. 浦安市地域包括ケア評価会議

3. 地域包括ケアシステム推進イベント

6

1. 浦安市の在宅医療・介護の取り組み (在宅医療・介護連携推進事業)



在宅医療・介護連携推進事業の基本的な考え方(国)

<法的根拠>

介護保険法第115条の45

<事業の背景>

① 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、**医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係団体が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供することが重要。**

② 医療・介護の関係団体が連携し、多職種協働により**在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係団体の連携体制を構築することが重要。**

事業項目と取組例

<p>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化 ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査 ◆ 結果を関係者間で共有 	<p>(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援 ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用 	<p>(キ) 地域住民への普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域住民を対象としたシンポジウム等の開催 ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発 ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等
<p>(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討 	<p>(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の課題を支援。 	<p>(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討
<p>(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進 	<p>(カ) 医療・介護関係者の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得 ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等 	<p>(ケ) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

医療と介護の連携

浦安市が目指す方向

自宅、施設、病院など

浦安

要介護状態になっても、**本人の選択により**住み慣れた地域の中で安心して最期を迎えることができるようにする

(浦安市高齢者保健福祉計画及び第7期浦安市介護保険事業計画)

在宅医療と介護連携事業の目標

要介護状態になっても、**自宅で自分らしく安心して生活**できるように体制づくりをすすめる

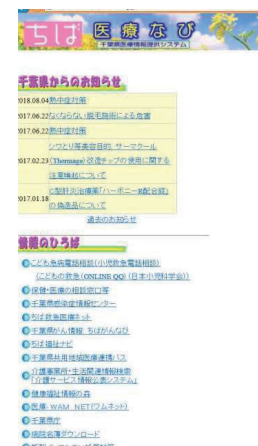
それはどのような状況か？

1. 事業のPDCA基盤が整備されている
→地域の医療・介護の課題抽出、対応策の検討されている
2. サービス提供体制が構築されている
→在宅療養ができる環境(受け入れ態勢)がある
3. 関係機関の連携ができている
→病院から在宅へスムーズに移行できる
4. 在宅療養や看取りについての情報が住民に普及啓発されている
→在宅医療、療養、看取りの場所は、自宅も選択できることを市民は知っている

「1. 事業のPDCA基盤が整備されている」に対する取り組み

浦安市内の医療資源 「ちば医療ナビ」より

1) 浦安市の医療介護資源



	件数(件)
病院	6
診療所	104
在宅療養支援診療所	7
歯科診療所	95
歯科訪問診療	34
薬局	50
在宅対応薬局(在宅患者訪問薬剤管理指導料)	40

浦安市薬剤師会HPより

浦安市内の介護資源(令和元年10月現在)

利用方法	サービス名	件数 (件)
介護の相談をする	居宅介護支援(居宅介護支援事業所)ケアプラン作成	35
	地域包括支援センター	5 支所1
自宅で利用する	訪問介護(ホームヘルプ)	30
	訪問入浴介護	1
	訪問看護(看護師、リハ職)	5
施設に通って利用する	通所介護(デイサービス)	12
	地域密着型通所介護(デイサービス)	7
	通所リハビリテーション(デイケア)	2
	認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	3
通い・宿泊・訪問を組み合わせて利用する	小規模多機能型居宅介護	2
短期間施設に入所して利用する	短期入所生活介護(ショートステイ)	5
	短期入所療養型介護(医療型ショートステイ)	1
施設に通って利用する	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3
	介護老人保健施設(老人保健施設)	1
	特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)	6
地域に密着した小規模な施設に入所する	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	7
	地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3
福祉用具を使う・購入する、住環境を整える	福祉用具貸与	6
	福祉用具販売	5

2)今年度の主な取り組み

在宅療養に関する相談窓口

(1)ともづな(浦安市地域包括支援センター)

健康・医療・福祉・介護など様々にご相談にのります。窓口・電話での相談のほか、家庭訪問もいたします。

	電話番号 (市外局番047)	担当地区
ともづな猫実	381-9037	猫実1.2丁目・堀江・富士見、鉄鋼通り・港・千鳥
ともづな浦安駅前	351-8950	猫実3.4.5丁目・当代島・北栄
ともづな新浦安	306-5171	海楽・入船・美浜
ともづな富岡 東野支所	721-1027 314-1085	東野・富岡・今川・弁天・舞浜
ともづな高洲	382-2424	明海・日の出・高洲

(2)ケアマネージャー

既に介護認定を受けている場合、担当のケアマネージャーが在宅療養に関する相談にのってくれます。どのようなサービスが利用できるのか相談してみましょう。

(3)病院の相談室

病院の中には、外来・入院患者が、心配事について相談できる窓口があります。入院生活から在宅療養に移行する場合には、退院準備について調整し、必要な支援について話し合います。

「1. 事業のPDCA基盤が整備されている」に対する取り組み

「3. 関係機関の連携ができていいる」に対する取り組み

(1)多職種連携会議の開催(令和元年8月28日)

目的:在宅医療・介護の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討
ネットワークの構築

参加者数:51名

医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、訪問看護ステーション、浦安ケアマネージャー連絡会、浦安介護事業者協議会、浦安市リハビリテーション連絡会、浦安市地域包括支援センター、社会福祉協議会、浦安市消防本部、浦安市介護保険課、健康増進課

内容:

- 1)浦安市在宅医療・介護連携推進事業の取り組み
- 2)「専門職と市民のためのアドバンス・ケア・プランニング」
- 3)各団体での在宅医療と介護の取り組みや課題



「4. 在宅療養や看取りについての情報が住民に普及啓発されている」に対する取り組み



(2) 市民語りの会

2019年7月4日(木) 14時～16時 12名参加

目的: 浦安市で安心して最期まで暮らせるような仕組み作りの礎を一緒に作っていく

内容: 外部ワークショップの報告

ACP(アドバンスプランニング)について

意見交換: 市民向け在宅医療介護のパンフレット内容検討

●在宅療養・看取りについて感じていること

- ・環境が整っていないと在宅は難しい
- ・自分ひとりでの介護は大変だった
- ・在宅医療は遠いという印象
- ・介護者が大変

「4. 在宅療養や看取りについての情報が住民に普及啓発されている」に対する取り組み

(4) 市民講座

2019年度の講座内容について

多くの市民に知っていてほしいこと、多くの市民が聞きたいと思う内容

- ・昨年度の講座「浦安市の在宅医療と介護の今」の内容を大勢の人に聞いてほしい
- ・語りたし、聞きたい人もいだろうから交流会
- ・経験者の話を聞きたい



「4. 在宅療養や看取りについての情報が住民に普及啓発されている」に対する取り組み

(3) 市民向けパンフレット作成中

在宅医療と介護の市民向けパンフレット

病気になっても、介護が必要になっても、安心して暮らし続けられるために、どんな情報があったらいいのでしょうか？

- ・在宅医療とは何か
- ・在宅でできる医療
- ・病院の種類や機能
- ・退院後の療養生活がイメージできる内容
- ・往診・訪問診療してもらえるクリニック
- ・具体的な事例

・「パンフレットを読む講座」のような勉強会



市民講座

「元気なうちから考える在宅医療と介護」
～浦安市で安心して最期まで暮らすために～

日時: 令和2年1月23日(木)・30日(木)

(2日間1コース)

9:45～正午

場所: 浦安市役所

定員: 80名



市民講座の内容

1) 在宅療養の実際

- ・在宅医療とは(医師)
- ・口腔管理の重要性と在宅でできる歯科治療(歯科医師)
- ・訪問看護ができること(訪問看護師)
- ・病院から在宅医療へ(病院)
- ・施設での療養と在宅療養に向けて(老人保健施設)
- ・ケアマネージャーの役割と介護保険制度(ケアマネージャー)

2) 経験談の紹介

3) 介護劇:〇〇家の人生会議



エンディングノート

自分の経歴や交友関係、メッセージ、希望などを記載しておく自分についての覚え書きです。市販されています。



リビングウィル(生前の意思)

治る見込みがなく、死期が近い時に、自分はどのような医療を受けたいのか、あるいは受けたくないのかを、あらかじめ書面に記しておくもの。



もしものときのために

「人生会議」

11月30日(いい看取り・看取られ)を人生会議の日

「自分がどのような医療や介護を受けたいか」をご家族や医療・介護関係者にあらかじめ伝え、話し合い、共有する取組を、アドバンス・ケア・プランニングといい、愛称を「人生会議」といいます。

今回講座を通して

- ・浦安市の在宅医療と介護について医療と介護の専門職から現状を聞く機会となった
- ・浦安の体制やいろいろな職種の支援者がいることを知ることができた
- ・講座の内容を家族や大切な方に伝えること、介護劇を実施し、誰にでも起こりうることと感じていただいた
- ・自分はどうしていきたいのかを考える機会になった

2. 浦安市地域包括ケア評価会議



浦安市地域包括ケア評価会議 令和2年1月9日(木)

【テーマ】

人生最期まで自分のしたいことが続けられるために
～あなたに最適な地域医療とは～

＜グループワーク＞

①人生最期まで自分のしたいことが続けられるために、浦安の地域医療は充足していると思いますか

②浦安で人生の最期まで自分のしたいことが続けられるために必要なことは何だと思いますか

～浦安市地域包括ケア評価会議～

- 市民・地域・関係機関・行政が、それぞれの立場で日ごろ感じている考えや情報を持ち寄り、設定されたテーマについて、同じ立ち位置で話し合い役割を確認、補完しあう場(協働の場)
- 地域包括ケアネットワークを広げる協働の場

平成22年9月より開催 年6回

＜アドバイザー＞ 岩室紳也 氏

＜参加者＞ 約80名

- 市民(市民団体、市民大学学生)
- 地域(民生委員等)
- 関係機関(医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険サービス事業者、社会福祉協議会、地域包括支援センター等)
- 行政



①人生最期まで自分のしたいことが続けられるために、浦安の地域医療は充足していると思いますか

●充足している

- ・急性期・回復期・慢性期の各期に対応できる病院がある
- ・クリニック・歯医者が多い
- ・交通の便がよく都内の病院も利用しやすい
- ・医療資源が足りないという話は聞かない

●充足していない

- ・訪問診療や往診の病院や診療所が少ない
- ・入院施設は少ないように感じる
- ・精神科病院、認知症専門の病院がない

●わからない

- ・訪問診療や往診の件数を聞いても足りているのかわからない
- ・病気の専門医の情報がわからない
- ・実際に、どのように活用したらいいのかわからない
- ・相談先がわからない

②浦安で人生の最期まで自分のしたいことが続けられるために必要なことは何だと思えますか

- 市民
- ・自分自身の健康管理
 - ・かかりつけ医を持つ
 - ・どんな人生を迎えたいのか考え、話し合いをしたり、文章にしておく
 - ・病院情報を得る
 - ・若者に引き継ぐ

- 地域
- ・地域とのつながり支援
 - ・近所レベルの助け合い
 - ・ボランティア
 - ・同じ趣味や人生観を持っている仲間を探す
 - ・高齢になっても、介護や医療が必要になっても行ける居場所

- 関係機関
- ・在宅医療、夜間や緊急時の対応や通報手段などの情報提供
 - ・総合病院と診療所の使い分けがわからない
 - ・近くに訪問診療医がおり、すぐに対応してくれる
 - ・市民と病院や診療所をつなぐシステム
 - ・気軽に相談できる環境や近所での助け合いの仕組みづくり
 - ・専門職の人材育成



(株)社会保険出版社「在宅療養ハンドブック」に一部加筆

3. 地域包括ケアシステム推進イベント

「これからの高齢者の暮らしを考えるフォーラム」

令和2年3月15日(日) 浦安市文化会館小ホール

テーマ 元気高齢者が地域を創る
～自分らしく暮らし続けるために～

講師: 櫃本 真聿(ひつもとしんいち)氏
日本医師会総合政策研究機構客員研究員
四国医療産業研究所所長

著書 ・「地域包括ケア時代の地域に根ざした医療の創り方」
・「生活を分断しない医療」
～医療に依存する時代から医療を生活資源として活用する時代へ～

コーディネーター: 岩室 紳也 氏
ヘルスプロモーション推進センター

